

第1回 国家プロジェクトとしての成田空港及び周辺産業基盤の整備推進に向けた
関係府省庁連絡会議 議事要旨

1 日時

令和8年7月13日（月）17:15～17:53

2 場所

中央合同庁舎3号館4階幹部会議室

3 出席者

○議長

金子 恭之 国土交通大臣

○副議長

水嶋 智 国土交通事務次官

○構成員

松家 新治 内閣府地方創生推進事務局審議官

出口 和宏 自治財政局長

中澤 正彦 大臣官房審議官（代理出席）

三野 敏克 大臣官房輸出促進審議官（兼輸出・国際局）（代理出席）

宮本 岩男 経済産業政策局地方創生担当政策統括調整官（代理出席）

岡野 まさ子 大臣官房総括審議官

中田 裕人 都市局長

沓掛 敏夫 道路局長

五十嵐 徹人 鉄道局長

石原 大 物流・自動車局長

宮澤 康一 航空局長

村田 茂樹 観光庁長官

○オブザーバー

藤井 直樹 成田国際空港株式会社 代表取締役社長

熊谷 俊人 千葉県知事

4 議事要旨

○連絡会議の趣旨説明

会議に先立ち、事務局より本連絡会議の趣旨説明を行い、資料1－1のとおり本連絡会議の開催についての申合せ案が承認された。

○金子議長からの冒頭挨拶

本日はお忙しいところお集まりいただき、誠にありがとうございます。

成田空港は、金額ベースで「我が国最大の貿易港」であるとともに、国際航空貨物の約7割

を占め、また、外国から日本へのインバウンドの約3割を受け入れています。成田空港の機能を更に強化していくことは、周辺地域はもとより、日本各地の成長に寄与していくことになります。

また、成田空港が北東アジアの「国際ハブ空港」としての地位を確立し、世界各地への連結性を高めることで、人流・物流の観点から、我が国の経済安全保障の強化に大きく貢献すると考えています。

この会議に先立って、成田空港会社の藤井社長より、B滑走路延伸部の2029年度中の先行供用及びC滑走路における土地収用制度の活用について、地元の協議会において確認がなされた旨の報告がありました。これは、成田空港の発着容量50万回化の早期実現に向けた大きな前進です。藤井社長をはじめ、これまで必要な用地確保に向けてご尽力いただいた関係者の皆様に感謝の意を表します。

他方、このことは、成田空港の歴史を踏まえれば、本日ご出席の熊谷知事や、成田市・芝山町・多古町の首長の皆様をはじめ、地域にとって非常に重いものであり、そのことについて、改めて心に刻んでいく必要があると思います。地域を代表する皆様におかれまして、このような重い決断をしていただいたことに、心より敬意を表したいと思います。

私自身も、大臣着任後成田空港を視察し、熊谷知事や3市町の首長の皆様との意見交換も行いました。その視察において成田空港が様々な困難を乗り越え、地域との共生・共栄を深めてきた歴史的経緯を再度認識したところです。

また、先週6日には、「今後の成田空港施設の機能強化に関する検討会」において、旅客ターミナルや貨物取扱施設、鉄道アクセスを発着容量50万回時代にふさわしいものとするべく、具体的な整備の方向性が示されたところです。こうした「第2の開港プロジェクト」は地域の方々からも待ち望まれている、非常に重要なプロジェクトです。

こうした動きを我が国、地域の成長実現に向けた千載一遇のチャンスと捉え、空港周辺への産業集積、国際航空物流拠点機能の強化、農林水産物の輸出拡大、鉄道・道路アクセスの強化を、地域との共生・共栄の精神に立ちつつ、まさに「国家プロジェクト」として一体的に推進していくことが必要です。

そのためには、関係省庁の力を結集して取り組んでいく必要があると考え、この連絡会議の立ち上げに至ったものです。このような趣旨を踏まえ、関係府省庁におかれましては、最大限のご協力をお願いするとともに、国土交通省の関係部局においては、スピード感を持ってしっかり対応するよう、よろしくお願いいたします。

○議事

(1) 関係府省庁連絡会議の設置について

資料1-2のとおり幹事会の構成員の官職の指定に関して決定した。

(2) 成田空港の更なる機能強化等の進捗状況について

宮澤航空局長から、資料2に基づき、成田空港の更なる機能強化及び今後の成田空港施設の機能強化について報告がされた。

(3) 成田空港の周辺産業基盤整備について

宮澤航空局長から、資料3に基づき、成田空港の周辺産業基盤整備に関する取組状況等

について報告がされた。

(4) 今後の進め方について

宮澤航空局長から、資料4に基づき、本連絡会議の今後の進め方について報告がされた。

(5) 関係者発言

本連絡会議の構成員・オブザーバーより、成田空港に関する現状の取組、今後の取組に関する意気込み等について発言があった。

○水嶋副議長からの閉会挨拶

本日はご関係の皆様、お忙しいところお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。

成田空港は、昭和の時代における対立構造を経て、首都圏における国際拠点空港として開港いたしました。

その後、地域の皆様の多大なるご理解とご協力のもとに、滑走路の増設・延伸や発着容量の拡大、運用時間の拡大など、地域との共生・共栄を深めながら発展をして、我が国の経済成長を力強く支えてまいりました。

今日では、冒頭、金子大臣のご発言にございましたとおり、インバウンドの玄関口として、また日本最大の貿易港として、国際的な文化交流の促進、観光立国の実現、経済安全保障の強化、さらには農林水産物の輸出拠点としてなど、様々な面から我が国の発展に大きく貢献をしているということでございます。

成田空港の更なる機能強化は、こうした役割を一層高める極めて重要な国家プロジェクトであると考えております。

先ほどは、本日会議にご出席された皆様方から、今後の取り組みに対する力強いご決意や、成田空港が有する高いポテンシャルへの期待についてお話をいただきまして、大変心強く感じている次第でございます。

今後、この会議を積極的に活用していただきながら、関係省庁の皆様と緊密に連携をして、成田空港及び周辺産業基盤の整備促進に向けて、スピード感を持って進めてまいりたいと考えております。

引き続き、本日ご出席の皆様方のご理解とご協力を賜りますよう、私からもよろしくお願い申し上げます。本日は誠にありがとうございました。